



## 頑張った運動会

10月5日の運動会は、子どもたちの頑張りで、大変素晴らしい運動会になりました。特に、ダンスは、どの学年も見応



えがありました。年少さんは、音楽に合わせて楽しそうに踊っているようすが微笑ましかったです。年中さんは、旗を上手に使いながら、きれいに隊形移動ができているところが見事でした。年長さんのソーラン節は迫力満点で、かっこよかったです。とても幼稚園児の演技とは思えませんでした。また、子どもたちが一生懸命に走る姿にも感動しました。

この運動会を通して、子どもたちは、体力面はもとより、最後までやり遂げようとする心やみんなの心を一つにするといった精神的な面でも成長したように思いました。

保護者の皆様には、早朝より子どもたちの演技に対して温かい声援や拍手をいただき、有難うございました。子どもたちも大いに励みになったことと思います。また、テント立てや片付けにご協力いただきました皆様、有難うございました。

## 本園が学園報の特集に

10月4日付の学園報107号は、本園の特集号となりました。新旧園長の対談として實藤前園長と私で筑女幼稚園の特徴やよさについて語り合っています。遊びが中心である保育のよさや絵本の読み聞かせの価値、食育の実践など園の教育方針が紹介されています。また、トピック的な内容も紹介されています。この特集号をぜひご覧ください。



## 子どもたちの遊び、それぞれに

本園では遊びを中心とした保育を行っています。晴れの日



の園庭では、さまざまな遊びが展開されています。砂場での遊び、三輪車遊び、遊具を使った遊び、鬼ごっこ、サッカー遊び、貝殻集め、どろ団子づくり、虫さがしなどさまざまです。子どもたちは、ただ楽しそうに遊んでいるだけではなく、真剣な眼差しで遊びに興じていたり、集中力を持ってものをつくったり、遊びに没頭している姿が見られます。砂を使ったケーキづくりでは、お店屋さんごっこも始まっていて「いらっしやいませ。何がいいですか」「イチゴケーキをください」と会話が弾んでいました。子どもたちは、遊ぶことで創造力を高めたり、人間関係をつくったり、ルールを身に付けたりしています。幼児期における遊びの大切さを子どもたちの姿から実感する毎日です。

## 園庭の一風景

園庭の木には鳥の巣箱がかかっています。令和3年には、シジュウカラが巣をつくり、ひなが育っていくようすが、絵本コーナーの壁に写真入りで紹介されています。鳥の巣箱の近くには鳥のえさのケースがつるされています。放課後の園庭には、このエサを求めてどこからともなく鳥が集まってきます。よく来るのは、スズメ、ハト、カラスです。みんなで仲良くエサをついばんでいます。本園のまわりは、木々も多く、鳥たちの住み家になっているのかもしれませんが。またいつの日か、園庭の巣箱に鳥たちが巣をつくってくれるといいなあと思っています。

